

### 少年の少年鑑別所での生活の様子

#### 「罪を憎んで人を憎まず」の取組

わたしたち少年鑑別所職員は、非行少年という言葉は好んでは使いません。

「非行少年」・「犯罪者」という表現は、その人全体を「悪者」と言っているように聞こえるからです。わたしたちは、非行をした事実とその人の人格とを分けて考え、「非行のある少年」と表現しています。

被害に遭われた方の苦しみや痛みを考えれば、非行は憎むべき行為なのは言うまでもありません。しかし、非行をした者を断罪しても、被害の緩和にも再非行防止にもあまり役立たないと考えています。

非行の要因の一つに、家庭や学校において「生きづらさ」を感じていることがあります。非行のある少年の更生には、この生きづらさの軽減を図ることが重要ですが、これは自らの努力のみならず、周囲の協力が不可欠になります。「非行少年」と悪者扱いされ更に生きづらくならないよう、周囲からの温かい支援により彼らの生きづらさの緩和を図ることが、新たな非行による被害者を生まない取組であると考えています。(文責 所長)



在所者は、規則正しい生活を通して心と体を整え、落ち着いて自分が再非行しないために必要なことを考えられる環境の中で過ごしています。

【朝】 起床時間に朝の挨拶をします。これが一日の生活のスタートとなります。パジャマから室内服へ着替えて布団を畳んでから朝食を摂ります。その他、清掃や室内運動の時間や本を借りるための時間があります。

【午前】 施設内にあるグラウンドで塀に囲まれた場所ではありませんが、陽の光を浴びて運動する機会を設けています。その後は曜日によって入浴が実施されます。その他、空いた時間は読書、学習あるいは面接をします。

【午後】 教養DVDを視聴して、感想文の作成をします。その後は作文や絵画など、曜日によって取り組む課題が違います。夕食前には室内での運動時間があります。

【夜間】 録音教材放送の聴取、日記の作成を行った後、テレビ視聴をします。その後、布団を敷いてパジャマに着替えて夜の挨拶をした後、就寝します。

	一日の生活表
【朝】	起床・朝食・室内清掃・室内運動
【午前】	室外運動・入浴・読書・学習
【午後】	教養DVD・作文や絵画等・室内運動
【夜間】	録音教材放送・日記・TV・就寝



## 少年鑑別所ってどんなところ？

～退所時のアンケートから～

少年鑑別所では、「非行のある少年」が、少年審判を受けるまでの間、静かな環境の中で生活しています。約4週間の鑑別所での生活の中で、彼らはどんなことを考え、どんなことに気付いてくれるのでしょうか？

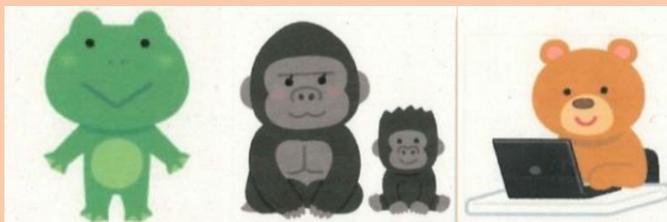
少年鑑別所から退所する時のアンケートの一部をご紹介します。

自分と向き合うことで悪かったところを見つけ、自分の気持ちに正直になれた。(16才 女子)

自分のことをよく知れて悪い所や良い所が分かり、どう変えたら良くなるか、家族ごと成長するきっかけになりました。

(18才 男子)

今までに誰にも言わずに抱えてきたことを打ち明けることができ、気持ちの整理ができた。(15才 女子)



## 「健全な育ちのために私たちが心掛けていること」

私たちは、行動科学の専門的な知識や技能を生かし、少年たちの非行や問題行動の防止に関わり、健全な育ちを支援することを通じて、安心できる地域づくりにつなげたいと願っています。

私たちは、少年たちに関心を払い、その行動を丁寧に観察します。じっくりと話を聞き、その気持ちを正しく知ろうと努めます。良いことは良い、いけないことはいけないと、具体的に伝えます。

私たちは、非行や問題行動には、少年たちの生きづらさに関わる場合があることを理解しています。そして、少年が、そして周囲の人々が、どうすればより良く生活できるか共に考え、提案します。

私たちは、少年たちの健全な育ちにおいて、少年の努力に加え、家族、そして地域の人々による温かい見守りや応援が必要なことを理解しています。

少年たちの健全な育ちのため、これからも御理解や御協力をお願いします。

